



## 予算総額2,222億5,836万8千円

一般会計	1,333億1,000万円
特別会計	631億11万4千円
水道事業	97億5,771万8千円
公共下水道事業	160億9,053万6千円

# 平成20年度の予算決まる

一般会計は対前年度比8.4%増、福祉、教育、都市計画に重点的に配分

二月二十六日から三月十九日まで開かれた第一回市議会定例会で、平成二十年予算が可決されました。

一般会計予算は前年度比八・四%の増となっております。特別会計予算と企業会計予算を合わせた総額は、二・一%の減となります。詳しい内訳は、五ページの表を参照してください。

歳入  
財政運営の根幹となる市税については、前年度比三・五%増となる五百五十七億五千一百

歳出  
引き続き厳しい財政状況の中で、財政の健全性を堅持しつつ、市民生活の向上や地域の活性化、市政の発展のための施策や事業に予算配分を行いました。

特に、医療保健センター（仮称）の整備や不妊治療費助成制度の創設などをはじめとする福祉施策、学校施設の整備や新図書館の建設などの教育施策、高崎駅東口周辺整備などの都市計画施策に、より重点的に配分しました。

二千円を計上しました。

### 各会計の予算額

会計別	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)/(B)
一般会計	1,333億1,000万円	1,229億3,700万円	108.4%
国民健康保険事業	328億5,061万8千円	326億5,704万2千円	100.6%
介護保険	196億4,653万1千円	182億4,347万8千円	107.7%
後期高齢者医療	30億6,362万5千円	-	皆増
老人保健	48億7,783万3千円	271億6,767万4千円	18.0%
簡易水道事業等	1億6,190万8千円	1億4,806万5千円	109.3%
農業集落排水事業	3億2,782万9千円	1億9,961万5千円	164.2%
駐車場事業	5億6,443万7千円	5億8,345万9千円	96.7%
土地取得事業	16億733万3千円	22億7,216万2千円	70.7%
小計	631億11万4千円	812億7,149万5千円	77.6%
水道事業会計	97億5,771万8千円	94億9,579万8千円	102.8%
公共下水道事業会計	160億9,053万6千円	133億6,050万6千円	120.4%
合計	2,222億5,836万8千円	2,270億6,479万9千円	97.9%

### 歳出費目用語解説

民生費 = 福祉など市民の安定した社会生活を保障するために必要な経費

教育費 = 小・中学校などすべての教育関係に要する経費

土木費 = 道路、橋、河川、公園などの建設や維持に要する経費

総務費 = 市の各種計画の策定や推進、市の内部管理などの経費

商工費 = 商工業の振興を図るための支援や観光振興のための経費

公債費 = 市の借入金の返済に要する経費

衛生費 = 市民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費

消防費 = 消防事業や災害防除または災害が生じた場合の被害を軽減するための経費

農林水産業費 = 農林業の振興を図るための支援や生産基盤設備などの経費

議会費 = 議会の活動に要する経費

労働費 = 雇用促進に係る経費や労働者のための施設管理などに要する経費

災害復旧費 = 災害によって生じた被害の復旧に要する経費

予備費 = 当初予期しなかった予算外・予算超過の支出に充てるための経費

景気は、アメリカ経済の減速や原油高騰などの影響から、先行き不透明な状況にあり、地方分権の潮流の中で、自治体のあり方そのものが大きな転換期を迎えています。

将来都市像に「交流と創造～輝く高崎」を掲げ、今年度からスタートした第5次総合計画は、高崎市がこれからの時代に的確に対応していくための今後10年間の基本指針であり、市民と行政のパートナーシップのもとで、まちづくりの目標を実現していく行動指針になるものです。

平成20年度の予算編成にあたっては、第5次総合計画で定めた施策や事業を最優先としながらも、市財政の健全性を堅持しつつ、市民の皆様の視点に立って事業の優先度や緊急度を考慮し、予算を配分しました。また、新年度予算には、平成23年4月1日の中核市移行に向けた予算も盛り込みました。中核市に移行することで、まちづくりの選択肢は広がり、よりきめ細かな行政サービスを提供できるようになります。

高崎は、いつの時代も市民がまちづくりの中心的な役割を担い、発展を続けてきました。この市民が主体となった高崎ならではのまちづくりの伝統と精神を今後も受け継ぎ、安心・安全を最重点に、高崎の「都市の力」と「市民の力」を一段と高め、「輝く高崎」を目指して全力で取り組んでまいります。

市民の皆様には、今後も本市のまちづくりにご指導と、なお一層のご協力をよろしくお願いいたします。



高崎市長 松浦幸雄

地域安全自主パトロール



市民とつくるみんなのまち

市民安全推進事業 879万円  
地域づくり活動推進補助事業 6,889万円



便利で快適な住みよいまち

区画整理事業では、高崎駅西口周辺地区、倉

高崎駅東口



便利で快適な住みよいまち

区画整理事業 35億4,552万円  
市街地再開発事業 1億1,000万円  
街路事業 15億6,390万円  
スマートインターチェンジ整備事業 1,591万円  
高崎駅東口周辺整備事業 18億9,035万円  
山名市営住宅建替事業 4億5,006万円  
新町市営住宅建替事業 4億1,879万円  
倉渕ふるさと住宅建設事業 1億9,207万円  
バス交通対策事業 4億8,002万円

みさと芝桜公園



人々がつどう魅力あるまち

農業振興計画の策定 692万円  
果樹災害防止施設整備事業補助 871万円  
経営構造対策事業 897万円  
畜産業の振興 2億1,142万円  
中心市街地商業活性化支援 2,155万円  
高崎まつりや各地域の祭りの開催 1億1,196万円  
みさと芝桜公園運営・整備 6,143万円  
榛名湖・社家町観光振興事業 2,550万円

人々がつどう魅力あるまち

パソコンや携帯電話のメール機能を利用して、市民に災害・防犯情報、各種市政情報などを配信、学校連絡網や災害時職員等参集用としても活用  
高崎第八分団詰所を六郷コミュニティ消防センターとして建て替え  
各地域の実情や地形的特性などを考慮した実効性のある新市の地域防災計画を策定  
地震など災害時の飲料水および大規模火災時の消火用として水を確保するため、堤ヶ岡小学校分離新設校地内に耐震性貯水槽を設置  
小・中・特別支援学校全校と公民館全館に自動体外式除細動器(AED)を設置  
新高崎市の農業のあり方を調査・研究し、今後目指すべき農業ビジョンを策定  
鳥獣やひょうによる果樹への被害を防ぐための多目的防災網の更新にかかる経費の一部を補助  
フルーツライン沿線の果実および加工品直売所の建設経費の一部を補助  
畜産農家の経営安定と負担の軽減に支援  
中心市街地の商業活性化のため、商店街団体のイベントなどに補助  
「高崎まつり」をはじめ、各地域の祭りやイベントを支援し、観光都市としてのにぎわいを創出  
平成二十一年度の芝桜まつりに向けてライトアップ工事を実施  
榛名湖と社家町周辺の一体的で魅力あるまちづくりを推進

市民とつくるみんなのまち

各地域の自主安全活動団体と関係行政機関との連携の場として設立された「高崎市地域安全連絡協議会」の活動経費を補助  
市民の地域づくり活動への参加意識を喚起し、地域活動をより一層推進  
電子自治体たかさきの構築を推進  
平成二十三年四月一日の中核市移行に向けた体制を整備

もてなし広場(緑化フェア)



安心でやすらぎのあるまち

給食残渣の堆肥化 2,884万円  
ごみ減量化とリサイクルの推進 3億2,525万円  
三ツ寺公園整備 1億9,800万円  
観音山公園整備 1億6,155万円  
全国都市緑化フェア推進事業 4億2,212万円  
メール配信システム 432万円  
六郷コミュニティ消防センター建設 9,820万円  
地域防災計画策定 1,720万円  
耐震性貯水槽設置 5,550万円  
自動体外式除細動器(AED)の設置 3,194万円

安心でやすらぎのあるまち

ごみの減量化と資源物のリサイクルを推進  
親水エリアや多目的広場をメインとして三ツ寺公園を整備  
カッパピア跡地を中心に観音山公園を整備  
第二十五回全国都市緑化くんまフェアを開催  
高崎経済大学の新学科設置などによる学生数の増加に対応し、新教室棟を建設

堤ヶ岡小学校



豊かな心と感性が育つまち

文化会館改修事業 8,000万円  
美術館収蔵庫建設 3億6,577万円  
学校支援員の配置 8,420万円  
耐震補強事業 3億3,965万円  
堤ヶ岡小分離新設校建設 17億7,094万円  
新町第一小校舎等建設 9億4,612万円  
自校方式給食拡充事業 782万円  
北公民館建設 2億3,866万円  
新図書館建設 7億3,012万円  
群馬地域野球場(仮称)建設 4億7,502万円  
高崎経済大学の新教室棟建設 14億4,017万円

安心して子どもを生み育てる環境づくり



すこやかで元気に暮らせるまち

放課後児童健全育成事業 3億8,316万円  
箕郷第一保育園改築事業 1億2,793万円  
乳幼児・児童医療費助成の拡充 10億1,771万円  
地域医療支援センター(仮称)建設 14億6,363万円  
医療保健センター(仮称)建設 9億3,256万円  
妊婦健康診査の充実 1億1,232万円  
不妊治療費助成 1,350万円

平成20年度予算の特徴

今年度の予算を特徴付ける主な事業の概要とその予算額を六つの項目に沿って紹介します。  
問い合わせは、財政課(321・1214)へ。

すこやかで元気に暮らせるまち

放課後の児童の健全育成を推進するため、放課後児童クラブの運営および施設整備を実施  
箕郷第一保育園の園舎を全面改築  
医療費助成の対象者を外来は小学三年生まで、入院は中学三年生までに拡大  
国立病院機構高崎病院の全面建て替え整備に併せて、市が病院の一部を地域医療支援センター(仮称)として整備  
保健センター・保健所休日夜診療所などの機能を備えた複合施設を新図書館と一体的に整備  
安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、無料の妊婦健康診査を四回から五回に拡大  
不妊治療に要する費用負担を軽減し、少子化対策を推進

豊かな心と感性が育つまち

市文化会館の舞台・照明設備などの全面改修工事を実施  
企画文化事業として、第四十二回松竹大歌舞伎美輪明宏の音楽会などを開催  
市美術館、市タワー美術館、染料植物園においてそれぞれ企画展を実施  
常設展示室を備えた美術館収蔵庫を建設  
市内の全小・中学校、特別支援学校、幼稚園に

野駅北地区、浜尻北地区、高崎操車場跡地周辺地区、上中居地区、群馬中央第二地区を重点的に整備  
高崎駅西口第四地区を再開発整備  
街路事業では、高前幹線、飯塚並覆線、矢中下斎田線など継続事業に加え、新たに堤下線、富岡生原線の道路整備を実施  
交通結節点機能の向上を図るため、スマートインターチェンジ整備を促進  
高崎駅東口ペDESTリアンデッキの整備および駅舎改修を推進  
山名市営住宅の第三期建て替え工事、新町市営住宅の二号棟の建て替え工事、倉渕ふるさと住宅建設工事を実施  
市内循環バス「ぐるりん」の車両二台の買い替えと、運行路線の見直しに向けた基本構想調査を実施  
上水道は、配水管の敷設や老朽管などの敷設替えによる管網整備事業などや、施設改良を引き続き推進  
下水道は、効率的な下水・雨水の管きよ整備を引き続き推進するとともに、平成二十三年度稼働を目指し城南雨水滞水池建設事業を実施